

人間科学 1 講座

Human Science 1

教授 金森 昌彦 Masahiko Kanamori

◆ 原著

- 1) Hashizume H, Konno S, Takeshita S, Fukui M, Takahashi K, Chiba K, Miyamoto M, Matsumoto M, Kasai Y, Kanamori M, Matsunaga S, Hosono N, Kanchiku T, Taneichi H, Tanaka N, Kanayama M, Shimizu T, Kawakami M. Japanese Orthopaedic Association back pain evaluation questionnaire (JOABPEQ): an outcome measure for patients with low back pain: reference values in healthy volunteers. *J Orthop Sci.* 2015 Mar; 20(2): 264-80.
- 2) 金森昌彦, 安田剛敏, 鈴木賀代, 渡邊健太, 木村友厚. 大学生の腰痛と精神的背景について. *中部整災誌.* 2015 Nov ; 58(6) : 1185-6.
- 3) 安田剛敏, 鈴木賀代, 渡邊健太, 堀 岳史, 金森昌彦, 木村友厚. 良性骨腫瘍に対する診断工夫とハイドロキシアパタイトによる再建の治療成績. *中部整災誌.* 2015 Sep ; 58(5) : 1009-10.
- 4) 鈴木賀代, 安田剛敏, 渡邊健太, 堀 岳史, 金森昌彦, 木村友厚. 進行性軟部肉腫に対するパゾパニブ塩酸塩の治療効果と有害事象. *整形外科.* 2015 May ; 66(5) : 418-22.
- 5) 長谷奈緒美, 鷲塚寛子, 境美代子, 金森昌彦. 足趾力強化トレーニングの効果. *共創福祉.* 2015 Apr ; 10(1) : 37-42.
- 6) 川口善治, 中野正人, 安田剛敏, 関 庄二, 金森昌彦, 木村友厚. 胸椎黄色靭帯骨化巣の手術成績に与える因子に関する検討. *中部整災誌.* 2015 May ; 58(3) : 457-8.

◆ 症例報告

- 1) Suzuki K, Yasuda T, Nagao K, Hori T, Watanabe K, Kanamori M, Kimura T. Bone metastasis of a gastrointestinal stromal tumor: A report of two cases. *Oncol Lett.* 2015 Apr; 9(4): 1814-8.
- 2) 金森昌彦, 鈴木賀代, 安田剛敏, 徳永綾乃, 木村友厚. 大腿骨外側上顆に発生した壮年期骨肉腫症例に対する一考察. *Toyama Med J.* 2015 Mar ; 25(1) : 72-4.
- 3) 桑野剛英, 鈴木賀代, 安田剛敏, 渡邊健太, 金森昌彦, 木村友厚. 胸腺癌の胸膜播種巣から直接浸潤により胸髄損傷をきたした1例. *整形外科.* 2015 Jun ; 66(6) : 531-4.

◆ 総説

- 1) 三橋陽平, 蜂谷美礼, 片桐達雄, 金森昌彦. 免疫応答機構における好塩基球の新たな地位と好塩基球シグナル伝達における Swiprosin-1 の研究. *Toyama Med J.* 2015 Mar ; 25(1) : 54-9.

◆ 学会報告

- 1) Kanamori M, Yasuda T, Suzuki K, Watanabe K. Immunohistological evaluation of apoptosis-related antigen for the giant cell tumor of bone. 28th Annual Meeting of the European Musculo-Skeletal Oncology Society; 2015 Apr 29-May 1; Athens.
- 2) Yasuda T, Suzuki K, Watanabe K, Hori T, Kanamori M, Kimura T. The utility of chromosome analysis in patients with the adipocytic tumors of extremities. 28th Annual Meeting of the European Musculo-Skeletal Oncology Society; 2015 Apr 29-May 1; Athens.
- 3) Suzuki K, Yasuda T, Watanabe K, Hori T, Kanamori M, Kimura T. The correlations between(18)F-FDG-PET/CT and histopathological findings in liposarcomas. 28th Annual Meeting of the European Musculo-Skeletal Oncology Society; 2015 Apr 29-May 1; Athens.
- 4) Watanabe K, Yasuda T, Suzuki K, Kanamori M, Kimura T. Inhibitory effects of Pazopanib during the metastatic formation in mouse undifferentiated pleomorphic sarcoma and osteosarcoma. 28th Annual Meeting of the European Musculo-Skeletal Oncology Society; 2015 Apr 29-May 1; Athens.
- 5) Kanamori M, Yasuda T, Suzuki K, Ohmori K. The clinical validity of degenerative disc degeneration on magnetic resonance imaging for the lumbar related symptome. *Eurospine* 2015; 2015 Sep 2-4; Copenhagen.
- 6) 安田剛敏, 鈴木賀代, 渡邊健太, 堀 岳史, 金森昌彦, 木村友厚. 良性骨腫瘍に対する診断工夫とハイドロキシアパタイトによる再建の治療成績. 第124回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会 ; 2015 Apr 10-11 ; 金沢.

- 7) 川口善治, 安田剛敏, 関 庄二, 鈴木賀代, 中野正人, 金森昌彦, 木村友厚. 頸椎椎弓形成術, 術後 20 年以上の追跡研究. 第 88 回日本整形外科学会学術総会; 2015 May 21-24; 神戸.
- 8) 安田剛敏, 鈴木賀代, 渡邊健太, 堀 岳史, 金森昌彦, 木村友厚. 軟部肉腫における染色体分析の有用性検討. 第 88 回日本整形外科学会学術総会; 2015 May 21-24; 神戸.
- 9) 安田剛敏, 鈴木賀代, 渡邊健太, 金森昌彦, 木村友厚. 後腹膜腫瘍の現状からみた他科との連携の必要性. 第 48 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会; 2015 Jul 9-10; 高松.
- 10) 渡邊健太, 安田剛敏, 鈴木賀代, 金森昌彦, 木村友厚. マウス未分化肉腫細胞と骨肉腫細胞に対するパゾパニブの転移抑制効果. 第 48 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会; 2015 Jul 9-10; 高松.
- 11) 鈴木賀代, 安田剛敏, 渡邊健太, 金森昌彦, 木村友厚. 骨肉腫に対する大量メトトレキサート療法後に発症した白質脳症の 1 例. 第 48 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会; 2015 Jul 9-10; 高松.
- 12) 鈴木賀代, 安田剛敏, 渡邊健太, 堀 岳史, 金森昌彦, 木村友厚. 軟部肉腫症例の遠隔転移出現に影響を与える臨床所見の特徴. 第 48 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会; 2015 Jul 9-10; 高松.
- 13) 金森昌彦, 近藤 隆, 三橋陽平, 関 隼人, 今井梨恵, 安田剛敏, 鈴木賀代, 木村友厚. 培養骨肉腫細胞に対するプラズマ (NEAPP) 照射による細胞増殖抑制効果. 第 48 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会; 2015 Jul 9-10; 高松.
- 14) 金森昌彦, 鈴木賀代, 安田剛敏, 徳永綾乃, 木村友厚. 初回手術後 5 年以上経過して, 局所再発なく肺転移を生じた壮年期骨肉腫の 1 例. 第 48 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会; 2015 Jul 9-10; 高松.
- 15) 小林賢司, 安 剛敏, 鈴木賀代, 渡邊健太, 金森昌彦, 木村友厚. 橈骨遠位部骨肉腫に対して処理骨を用いて再建を行った 1 例. 第 48 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会; 2015 Jul 9-10; 高松.
- 16) 安田剛敏, 鈴木賀代, 渡邊健太, 金森昌彦, 木村友厚. 後腹膜腫瘍の手術例の検討による他科との連携の必要性. 第 13 回日本臨床腫瘍学会学術集会; 2015 Jul 16-18; 札幌.
- 17) 鈴木賀代, 安田剛敏, 渡邊健太, 金森昌彦, 木村友厚. 骨肉腫に対する大量メトトレキサート療法後に発症した白質脳症の 1 例. 第 13 回日本臨床腫瘍学会学術集会; 2015 Jul 16-18; 札幌.
- 18) 金森昌彦, 島 友子, 長田拓哉, 林 龍二, 安田剛敏. 医師主導型臨床研究開始報告—高度進行がん (固形腫瘍) に対するオンコサーミア治療. 第 1 回日本オンコサーミア研究会 (シンポジウム); 2015 Oct 21; 富山.
- 19) 鈴木賀代, 安田剛敏, 渡邊健太, 堀 岳史, 金森昌彦, 木村友厚. 腰椎硬膜外脂肪腫症における発症と発生病態の解明. 第 30 回日本整形外科学会基礎学術集会; 2015 Oct 22-23; 富山.
- 20) 渡邊健太, 安田剛敏, 鈴木賀代, 関 庄二, 野上真紀子, 牧野紘士, 金森昌彦, 木村友厚. マウス悪性骨・軟部腫瘍に対するパゾパニブの転移抑制効果. 第 30 回日本整形外科学会基礎学術集会; 2015 Oct 22-23; 富山.
- 21) 安田剛敏, 鈴木賀代, 渡邊健太, 堀 岳史, 金森昌彦, 木村友厚. 軟部肉腫における診断ツールとしての染色体分析の有用性. 第 30 回日本整形外科学会基礎学術集会; 2015 Oct 22-23; 富山.
- 22) 鈴木賀代, 安田剛敏, 渡邊健太, 金森昌彦, 木村友厚. 脂肪肉腫における FDG-PET 所見と病理組織学的検討. 第 30 回日本整形外科学会基礎学術集会; 2015 Oct 22-23; 富山.
- 23) 渡邊健太, 安田剛敏, 鈴木賀代, 金森昌彦, 木村友厚. 骨巨細胞腫の局所再発の予測因子としての骨代謝マーカーと細胞遺伝学的検討. 第 30 回日本整形外科学会基礎学術集会; 2015 Oct 22-23; 富山.
- 24) 川口善治, 安田剛敏, 関 庄二, 鈴木賀代, 牧野紘士, 金森昌彦, 木村友厚. OPLL 骨化形態の詳細. 第 30 回日本整形外科学会基礎学術集会; 2015 Oct 22-23; 富山.
- 25) 関 庄二, 川口善治, 安田剛敏, 鈴木賀代, 渡邊健太, 牧野紘士, 金森昌彦, 木村友厚. 変性側弯症を伴った腰部脊柱管狭窄症に対する OLIF と経皮的椎弓根スクリューを用いた矯正と間接的除圧の成績. 第 26 回北陸脊椎脊髄外科研究会; 2015 Dec 5; 富山.

◆ その他

- 1) Kanamori M, Yasuda T, Suzuki K, Ohmori K. The clinical validity of degenerative disc degeneration on magnetic resonance imaging for the lumbar related symptom. *European Spine J.* 2015; 24(suppl. 6): s788.
- 2) 金森昌彦. がん細胞 熱で攻撃. 北日本新聞. 2015 Feb 7.
- 3) 金森昌彦. 医の倫理. 平成 27 年度富山大学附属病院新人職員研修; 2015 Apr 1; 富山.
- 4) 金森昌彦. 整形外科手術適応の考え方とピットフォール. 第 36 回東信整形外科懇話会; 2015 Jun 13; 小諸.
- 5) 金森昌彦. 富山大学附属病院の外来におけるオンコサーミア治療について. 富山大学附属病院外来看護師勉強会; 2015 Jun 24; 富山.

- 6) 金森昌彦. 北陸路に棗（ナツメ）ありて. 第4回ナツメ研究会；2015 Sep 3；福井.
- 7) 金森昌彦. 研究指導と審査評価に対する具体的提案—私の小経験から. 平成27年度富山大学看護学科FD（パネラー）；2015 Sep 30；富山.
- 8) 金森昌彦. 新規癌治療における産学連携イノベーションに向けて. 第5回イブニング技術交流サロン；2015 Dec 4；富山.
- 9) 金森昌彦. 時代はオーダーメイド人工骨・関節へ移行—整形外科領域の生体再建材料開発に向けて—. 平成27年度新分野進出支援事業（北陸ライフサイエンス産業創出支援事業）「ライフサイエンス医学研究シリーズ・医療現場ニーズ発表会」；2015 Dec 9；富山.
- 10) 金森昌彦. 富山大学における経験症例. 第5回富山大学オンコサーミア研究会公開講座（交流サロン）；2015 Dec 22；富山.
- 11) 金森昌彦. 時代はオーダーメイド人工骨・関節へ移行—整形外科領域の生体再建材料開発に向けて—. 富山大学リエンニュース. 2015；22：3-4.
- 12) 金森昌彦. 第41回国際福祉機器展印象記. 東西医学教育研究の再考「からだ」と「こころ」. 2015；3：48-9.
- 13) 金森昌彦. 運動器人間科学と弓道との接点（5）. 富山大学弓紀. 2015；37：4-5.